

令和2年度まちかどミーティング会議録

開催日 令和2年8月26日（水）

地区 弥生町地区

会場 弥生連合町内会館

〈意見交換〉

○司会 続いて、意見交換の時間に移りたいと思います。

この時間は、町内会からの要望事項やテーマプレゼンテーションの内容のほか、地域の課題等に対する意見交換を中心に、遅くとも8時には終了するように進めてまいりたいと思います。お時間に限りがございますので、お一人につき1件ずつ、3分程度を目安に簡潔にご発言いただきますようよろしくお願いいたします。

なお、町内全体に関わらないような個人的な要望や苦情等につきましては、発言を制止し、まちかどミーティング終了後、個別にお話を伺わせていただくことといたしますので、あらかじめご了承ください。

また、今年のまちかどミーティングにつきましては、全体の参加人数を制限しておりますので、後ろ側をご覧のとおり、市側の出席者につきましても例年よりかなり少なくなっております。そのため、ご意見の内容によっては、本日、この場で回答が難しい場合もあろうかと思われましても、その場合には、担当部署のほうに引き継ぎまして、後日、改めての対応となりますことをご了承いたします。

なお、発言する際には、最初に町内会名とお名前を述べてからご発言をお願いします。

事前要望に関する意見の場合には、検索しやすいので、併せて何番目の要望に関するものなのかについてもお知らせいただければと思います。

最後に、繰り返しのお願いとなりますけれども、ご発言はお一人につき1件ずつ、3分を目安にお願いいたします。

それでは、ご意見のある方は、マイクをお持ちしますので挙手のほうをお願いいたします。

◆市民 矢代町内会の[]です。西小学校のグラウンド脇に緊急貯水槽というのが、去年12月にできて、今、立て看板が設置されていますけれども、これについて、町内会とか、近郊の町内会などに、私の記憶では何の説明もなく、ただあるだけという感じに感じられます。それで、そこには大規模な地震などの災害時、皆さんの飲料水として活用できる非常用の貯水槽を埋設してありますとは書いてありますが、いつ起こるか分からない災害なのに、いまだ説明もなく、その裏には、係の人1人ではできないので、地域の人に手伝ってもらう場合がありますと書いてあるんですが、それすら町内会に何の通達もないのに、果たして、いざ災害になったときに、すぐ活用できるのかどうかということがちょっと不安であります。関連して言えば、この貯水槽については、西小学校以外に市内に何個かあるのか、それもちょうと聞きたいなと思っています。

○司会 貯水槽に関するお問合せだったと思いますけれども、市のほうから回答のほうお願いいたしま

す。

◎危機管理室長 どうも、こんばんは。市の防災を担当しております危機管理室の前田と申します。ただいまの緊急貯水槽の関係なんですけども、設置が上下水道部というところで設置をしたものなんです。ちょっと本日その担当が来ておりませんが、ただ、この緊急貯水槽、災害が起きて、学校なんか避難所になりますので、そこで、皆様に水を供給する意味でも非常に重要なものとなっております。

その事前の町内会の説明ですとかいうことにつきましては、すみません、この場で、ちょっとその辺の経緯が私も承知しておりませんので、担当のほうに、今のお話をお伝えしまして、町内会さんのほうにも、その辺、この後そういったご予定があるかどうかも含めまして、連絡するようになんか伝えていきたいというふうに思いますので、よろしく願いいたします。

○司会 ちょっと本日はこの場での回答が難しかった部分もありますけれども、よろしかったでしょうか。

◆市民 いや、西小学校に避難したときに使うものなのか、地域の町内の人がかみに行っているのか自体もちょっと分かりませんので。

○司会 お願いします。

◎危機管理室長 緊急貯水槽については、ふだん使いではなくて、災害が起きて断水したとき、そういうときのために、災害が起きたときに地域の方々に水を配るためというものとなっておりますので、そういった役割も含めてですね。あるいは、そういった災害が起きたときには、私ども市の職員も避難所へ行きますけども、なかなか人手が足りないこともございます。そういったときに地域の方々にも協力いただくということで……。

◆市民 そう書いてはあります。

◎危機管理室長 はい、地域によっては、そういう地域の方に参加していただいて、緊急貯水槽の訓練なんかしたケースもございますので、そういったことも含めて、説明が必要ではないかということを担当のほうにも伝えさせていただきますので、よろしく願いいたします。

◎市長 大変申し訳なく思います。そういった書き物がありながら、事前に説明がないということです。もしかしたら、2月以降、このコロナ禍の中で、こうして集まっていたいて説明するというのを避けたかもしれない。しかし、その場合でも、紙で取りあえずお知らせするということはできたはずで。2週間以内に担当で説明をさせますので、その辺の日程は、矢代町の町内会のほうと調整しながら、2週間以内に説明会をやりませう。

◆市民 何があるか分かりませんからね。

◎市長 はい。

○司会 それでは、ほかにごございますか。

◆市民 すみません、町内会と全く関係ないような話でもよろしいですか。

○司会 内容をまず伺ってみたいと分からないので、マイクをお持ちします。

◆市民 弥生町の■■■■といます。全く関係のない話なんですけど、北海道新幹線が札幌に来たときに、並行在来線がなくなるという話が出てるんですけど、例えば苫小牧、室蘭の函館駅、あの

辺の室蘭本線とかというのは、私らの足としては、非常に重要なんですけれど、どういうふうな形になるようなことをJRのほうでは想定してるかなということなんですけれど、差し支えなければお願いします。

○司会 北海道新幹線が札幌延伸した場合の、この地域の室蘭本線への影響ということでしたけれども、市のほうから回答のほうお願いいたします。

◎総合政策部長 おぼんでございます。総合政策部長の木村と申します。

新幹線の部分、2030年、札幌延伸というところで、今決定はしてますけども、その今の室蘭線の部分の特急、在来線の減便するかどうか、それをどうなるかということは、今JRとしてもはっきりしたことは申しておりませんし、私どもも聞いている部分はございません。

ただ、私どもとしては、新幹線、北回りルートで札幌延伸になったとしても、やはり南回りルートも、私ども、長万部から室蘭、登別、そして苫小牧から札幌に行くルートについては、非常に幹線として重要なルートだと思っておりますので、そこはJRの考え方を注視してまいりたいと思っておりますし、ここはそういう減便にならないように、私どもとしてもJRとは、お話はこれからもさせていただくような方向で伝えていきたいと思っておりますので、今のところは、一切そのような情報は、具体的な情報は入ってないということですので、よろしく願いいたします。

○司会 よろしかったでしょうか。

ほかにいらっしゃいますか。

まだ、お時間がございますので、本日のテーマプレゼンテーションの感想などもお伺いできればと思いますが、ほかにございませんでしょうか。ないですかね。

◆市民 弥生町の■■■■と申します。私も初めての参加なんですが、このまちかどミーティングは、ここが最初なんでしょうか。

◎市長 2地区目です、2つ目。

◆市民 2つ目ですね。それでは、あまり意見というか、質問がありませんので、第1でやられたところでこういう意見とか質問とか、すごくいいことがありましたよ、お話がありましたよというのがありましたら、ぜひ聞きたいと思います。よろしく願いします。

○司会 ちょうど昨日からスタートしまして、昨日の様子をお伺いしたいということだったんですけれども。

室長、どうぞ。

◎協働・男女平等参画室長 まちかどミーティングを担当しております宮嶋と申します。今日は本当にお暑い中、お集まりいただきましてありがとうございます。

今日は2回目ということで、第1回目は、昨日、住吉にございますコミセンのほうで行いました。そのときに、8つぐらい質問をいただきました。その中で最初にやらせていただきましたゼロごみのプレゼンテーションの講評であるとか、それから、多分ふだんから皆様、地域のいろんな道路の問題であるとか、それから、あと、環境の問題であるとか、それから、あと、避難所の問題とか、いろんな問題をいただきました。今日もまだお時間ございますので、ぜひいろいろと

質問していただければというふうに思います。

以上でございます。

○司会 私のほうからも1点だけ追加でお伝えしたいと思うんですけども、昨日、町内会の中で、今年初めて町内会の■■■■というんですかね、環境の担当のほうに就任されたという方がご質問されておりまして、私も以前、ごみ関係の部署にいたということもあって興味深くお話伺わせていただいていたんですけども、「クリーンとまこまい」という冊子を見たときに、ごみの回収と収集と、言葉を2つ使っているんですけども、何かその言葉は使い分けしているんですかという質問がありまして、いや、正直言って考えたことなかったな、これまでと思って、後日、関係部局のほうで調べてお答えするというご様子でお持ち帰りさせていただいた話題だったんですけども、「クリーンとまこまい」をそんなに隅々まで見ていただいているんだなと思って、私ちょっと記憶にすごく残っております。

ほかに、何でも構いません、何かあれば、挙手のほうお願いできればと思いますけれども、後ろの女性の方から。

◆市民 弥生町の■■■■と申します。斉藤歯科から、その弥生郵便局まで抜ける道路の歩道ですか、市長さん、一度歩いてみてください、どういう状況であるか。そして、大成から渡ってこられる方、冬とか。もうとても大変で、もう私たちも年いって、雪、丁寧にはねることもできないんですけど、まず、夏場のその斉藤歯科から弥生郵便局抜けるまでの歩道。この暗いあれだったら、段差があって、とても大変です。

それと、プラスチックごみは市でどのように処理されているのか。

それと、この間、お盆前後でしたか、すごい強い風があったよね。あのとき、うちの前の緑地にタモの木が植わさって、それが全部枯れているんです。強い風で折られて、私の腕よりも太い木が無数に落ちて。何でこの車のそばに落ちているんだろうと思って拾ったんですけど、よく見たら、その木から折れて、道路に走っている車に当たっても大変ですし、早い処理をお願いしたいと思います。

以上です。

○司会 市のほうから回答のほうお願いいたします。

◎道路維持課長 すみません、道路維持課の小西と申します。いつも道路関係、維持管理のほう、町内会の方に連絡いただいて、直させていただいておると経緯がございますので、この場をお借りして、まず、ありがとうございます。

それで、今歩道につきまして、歩きづらいということなので、現地のほう、一回確認させていただいて……。

◆市民 はい、お願いいたします。

◎道路維持課長 これ、本来であれば、全部一遍に直したいところなんですけども、例えば、歩きづらくてひび割れてる部分だけでも早く直して、少しでも……。

◆市民 波がある。

◎道路維持課長 波がですね。そういう下がっているところについては、少しでも平らにして歩きやす

いような形にしていきたいと思います。

それから、街路樹というんですかね、木の問題につきましては、この場で言わせてもらいますと、緑地公園課、都市建設部の同じ部署なんですけども、担当なんですけども、枯れてる木が折れているのか、どういう木が折れてるのか、ちょっと今、物を見ないと、私もちょっとお答えできませんので、それにつきましても、この会終わった後、またちょっと確認させていただいて、後日、担当のほうに言って、すぐ処理するようにいたしたいと思いますのでよろしくをお願いします。

◎環境衛生部次長 どうも、おぼんでございます。環境衛生部の鈴木と申します。私のほうからは、プラスチックごみの処理についてお話ししたいと思います。

苫小牧市では、プラスチックごみは資源ごみということで、皆さんにご協力いただきまして、分別回収というものをさせていただいております。皆様から集まったプラスチックごみにつきましては、私どものほうで、よくプラスチックの容器にリサイクルマークついているプラスチック、それと、ポリバケツですとか、そういったものは、たしかマークついてないプラスチックごみと、我々、容器プラスチックとその他のプラスチックごみというふうに呼んでますけども、それらにまず分別します。皆さんから集めたごみをリサイクルマークついたごみとそうでないごみに分けると。分けたごみについては、リサイクルマークついたごみにつきましては、再びプラスチック製品として再生利用しております。リサイクルマークのついてないプラスチックごみ、こちらにつきましては、発電所だとか、そういった工場の石炭を使って発電したり、ボイラー発電したりする、そのプラスチックの代わりの燃料として、もともとは石油からできてますので、よく燃えるものですので、そちらのほうで石炭の代わりとして再利用するという形で、皆様から集められたプラスチックごみにつきましては、全て再生利用という形でしております。

ただ、排出する際に、燃えるごみに入ってしまったたり混ざってしまうと、これ再利用できなくなりますので、ぜひ皆様には、引き続き、適正な排出ルールに基づいてお願いしたいと思います。

以上です。

○司会 よろしかったでしょうか。

それでは、他にいらっしゃいますか。

◆市民 第七区親交会の■■■■でございます。今回、要望事項3項目出しましたけれども、全てご回答いただきましてありがとうございます。また、草刈りについても、もう早急にやっていただいて、これも感謝申し上げます。

このことについてはいいんですけれども、市のほうから、災害対策として、防災行政無線のスピーカーを全市的に配置をすると、そういったご案内がありまして、ただ、うちの町内会の地域においては、浜側ということで、津波が心配だということでもありますけれども、設置地域が西小学校とか、また、矢代町の公園という2か所があったんですけども、非常に海岸から離れているということから、海岸線の住民の方からは、ここで、本当に声聞こえるのかどうか、そういった心配の声が上がってますので、その辺についての説明をお願いしたいと思います。

○司会 防災無線に関する質問でございましたけれども、市のほうから回答のほうお願いいたします。

◎危機管理室長 危機管理室の前田です。本当に防災の関係、いろいろと日頃からご協力いただきまし

てありがとうございます。

今ご指摘いただきました防災行政無線というものなんですけども、屋外に鉄塔を建ててスピーカーをつけて、災害が、この間も暴風警報出ましたけども、ああいった警報の情報ですとか、避難所開設情報、そういったものをスピーカーを通じて皆様にお知らせするシステムとなっております。

これ昔、苫小牧は、もともと樽前山の火山のことが一番大きな問題だったものですから、錦多峰川から西側のほうにもともと設置されていたんです。ところが、その後、東日本大震災があったりですとか、非常に大きな災害があったこともありまして、先ほど[]からもありましたとおり、特に海岸線沿いの避難をいち早くするという意味では、西側だけでは足りないのではないかというお話がありまして、いろいろと議論を重ねた中で、今年度、全市にこれを拡大するという作業をこの8月中旬から今工事が始まっております。

その中で、今、会長からありましたけれども、このかいわいでいうと、海岸線よりも少し内陸側のほうに2か所ついております。ただ、このスピーカー、かなり高性能なスピーカーを今回考えておりまして、大体、円に描くと、700メートルぐらいの円が、700からもうちょっと円描けそうなんです。それらをうまくスピーカーの向きですとか、音量をしっかりと調整して、確かに陸側ではありますけども、その海岸線沿いの皆様方にちゃんと届くように、その辺も業者さんしっかりと協議をして、絵を描いた上で、今進めさせていただいております。その辺の運用につきましては、また後ほど、改めて町内会の皆様方にも運用方法等々をご説明しようとは思っておりますが、そこは、もともとは海岸線沿いの避難情報をどう伝えるかということから始まった無線整備でありますので、そこは、しっかりと海岸線沿いも伝わるように調整しながら進めていきたいというふうに思っております。よろしく申し上げます。

◆市民 ありがとうございます。

○司会 ほかにいらっしゃいますでしょうか。

はい、どうぞ。

◆市民 白金町の[]です。よろしく申し上げます。

苫小牧の第二霊園の件なんですけども、以前、正面から入ってきますと、真っすぐに行くのと左に入るのというところで、駐車場のラインが引いてあったんですよ、ずっと、黄色い線ですね。それが今年の春の彼岸のときに見たら、もう大分消えちゃっていると。それで、今度はお盆が来ますので、その間にしてくれたらどうかと思って、私は、市役所のほうの担当のほうに電話をしました。そうしたら、対応があまりよくなかったんですよ。それで、お盆のときはどうかと思っていたら、やっぱり直ってない、そのままなんですよ。あそこは一方通行で、墓の奥のほうからずっと帰る、迂回するようになっています。ですから、そういう一方通行の表示も正面のところにあったほうがどうか。矢印もつけていただければと思いますので、今度また秋の彼岸が来ます。ですから、それまでにしていただけるかどうか、ちょっと確認したいなと思いました。

○司会 霊園の駐車場のラインの件でございます。回答のほうお願いいたします。

◎環境衛生部次長 再び、環境衛生部、鈴木と申します。霊園のほうにつきましても環境衛生部が所管

しておまして、今日はちょっと担当課のほうは来てないんですけども、第二霊園の駐車場のラインが消えかかっているというお話……。

◆市民 消えている。

◎環境衛生部次長 消えちゃっているということですので、ちょっと近日中に現地のほう確認しまして、ちょっと予算も今あるかどうか確認した上で、お彼岸もありますし、これからですね。お盆は終わりましたが、すぐまた9月の彼岸参りますので、それまでに対応できるかどうかちょっと考えさせていただきたいと思います。よろしくをお願いします。

◎市長 電話の対応が悪かったですか、そのときの。

◆市民 ええ、そうです。

◎市長 言葉遣い。

◆市民 言葉遣いというよりも、だから、例えばすぐ行って確認するだとか、そういうことがなかった。

◎市長 対応が。

◆市民 対応がね。

◎市長 分かりました。

◆市民 若い子です。

◎市長 はい。

○司会 ほかにいらっしゃいますでしょうか。

ほかにないようでしたら、少しお時間早いですけれども、これで終了とさせていただきますけれども、よろしいですか。

それでは、最後に、本日のまちかどミーティングの終了に当たりまして、岩倉市長よりご挨拶させていただきます。

◎市長 本当にコロナ禍での開催ということでありましたけれども、テーマプレゼンテーション、大変ご熱心に受け止めていただき、また、ご質問もいただきまして、誠にありがとうございました。

今日いろいろやり取りしている中で、現地を見させていただいて、できるかどうか検討してお答えしますというようなこと、あるいは私自身が2週間以内で説明会、場合によってはペーパーで説明をするようなことも含めて、2週間以内にちゃんとやりますというふうなことを申し上げましたが、現地見るといっても、小西君、来年にはなんないんだろう。

◎道路維持課長 さっきの歩道の。

◎市長 そうそう。

◎道路維持課長 いろいろちょっと状況を確認させてもらって……。

◎市長 いやいや、その、見るのはさ。

◎環境衛生部次長 処理、対応していきたいと思います。

◎市長 もう本当にこれ……。

◎環境衛生部次長 すぐ、すぐやります。

◎市長 役所仕事という言葉がありますけども、やはり役所仕事だと市民の皆さんに言われないように、できるかどうかは若干時間を要するケースがありますが、できるかどうかの判断は、指摘いただ

いて、すぐ動くということが大事だと思いますので、今日も何点かそういうことがありましたので、しっかりとスピード感を持って、現地を見て、方針をご相談させていただくということにしたいなというふうに思います。

最後になりますけれども、JR北海道のお話をいただきました。我々も長万部から札幌までこの鉄道の高速化というものをどうすべきなのか、2030年、札幌延伸に合わせて、やっぱりこちらの室蘭本線は、洞爺湖、登別、あるいはウポポイ、白老というものを持っているわけですから、高速化の問題について、かなり前からそういう動きをしてきました。ただ、東室蘭から長万部までの鉄道の電化の問題があったり、我々フリーゲージトレインをずっと研究をしていたんですけれども、何とか2030年までにそういう方向について、JR北海道とも詰めていきたいなというふうに、なくなることは絶対ないと思います。それよりもJR北海道がなくなる可能性が否定できないので、何とか道民の足、鉄路を守るためにJRさんにも守っていきたいし、我々も利用促進に向けて、室蘭線、そして日高線の利用促進、一生懸命汗を流したいなというふうに思っておりますので、室蘭本線がなくなるということはないというふうに考えております。むしろ、我々、鉄道の高速化というものをどう考えるかということについてのチャレンジは、これからも引き続きやっていきたいなというふうに思っています。

重ねて、皆さん方に心から御礼を申し上げまして、最後のご挨拶に代えさせていただきます。今日はありがとうございました。（拍手）

○司会 以上をもちまして、本日のまちかどミーティングを閉会いたします。

ご帰宅後には、手洗い、うがいを徹底していただきますようよろしくお願いいたします。

本日は誠にありがとうございました。